

## 資料

資料1	看護系大学・大学院の卒業生・修了生の就職・進学状況「2021年度（2022年度実施）「看護系大学に関する実態調査」」	2
資料2	看護系大学数及び入学定員の推移（文部科学省高等教育局医学教育課調べ）	3
資料3	看護系大学（国公立）教員数に関する調査結果	4
資料4	看護系大学院数及び入学定員の推移（文部科学省高等教育局医学教育課調べ）	6
資料5	最上位取得学位名称別の教員数（「2021年度（2022年度実施）「看護系大学に関する実態調査」」）	7
資料6-1	富山県立大学大学院看護学研究科（博士後期課程）の設置に関するアンケート （修士修了者及び修士在学中の者に対する博士後期課程への進学希望調査等）の概要	9
資料6-2	富山県立大学大学院看護学研究科（博士後期課程）の設置に関するアンケート調査票	10
資料6-3	調査対象としたアンケート配布者の所属一覧	14
資料6-4	富山県立大学大学院看護学研究科（博士後期課程）の設置に関するアンケート調査結果 （修士修了者及び修士在学中の者に対する博士後期課程への進学希望調査等）	15
資料7-1	看護学研究科博士後期課程設置に関する調査【県内医療機関看護管理者】概要	18
資料7-2	看護学研究科博士後期課程設置に関する調査【県内医療機関看護管理者調査票】	19
資料7-3	看護学研究科博士後期課程設置に関する調査結果-県内医療機関看護管理者-	21

## 別紙

別紙1	富山県立大学看護学研究科（修士課程）の入学者の受験時の住所地	24
別紙2	富山県立大学大学院看護学研究科（修士課程）の学生募集のためのPR活動の過去の実績	25

## 6.看護系大学・大学院の卒業生・修了生の就職・進学状況

表6.卒業生・修了生の就職・進学状況

(人)

	学部卒業生	修士修了生		博士後期課程 修了生	
		修士課程	うち専門 看護師課程		
就職者 内訳	病院・診療所	19,810 (86.6%)	960 (56.6%)	134 (80.7%)	46 (14.8%)
	介護・福祉施設関係	35 (0.2%)	26 (1.5%)	3 (1.8%)	2 (0.6%)
	訪問看護ステーション	27 (0.1%)	19 (1.1%)	5 (3.0%)	4 (1.3%)
	保健所・市町村・検診センター	1,116 (4.9%)	83 (4.9%)	0 (0.0%)	1 (0.3%)
	企業	116 (0.5%)	46 (2.7%)	0 (0.0%)	8 (2.6%)
	学校(教諭として)	180 (0.8%)	54 (3.2%)	4 (2.4%)	39 (12.5%)
	大学・短大・研究機関等	5 (0.0%)	148 (8.7%)	5 (3.0%)	173 (55.6%)
	専修・各種学校	2 (0.0%)	15 (0.9%)	0 (0.0%)	3 (1.0%)
	その他(行政職を含む)	114 (0.5%)	26 (1.5%)	0 (0.0%)	4 (1.3%)
進学者 内訳	国内の大学院(看護系)	324 (1.4%)	85 (5.0%)	1 (0.6%)	2 (0.6%)
	国内の大学院(看護系以外)	42 (0.2%)	24 (1.4%)	1 (0.6%)	0 (0.0%)
	助産師課程(専攻科、別科、専修学校等)	561 (2.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	保健師課程(専攻科、専修学校等)	61 (0.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	国内の他学部	31 (0.1%)	3 (0.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	海外留学	7 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.3%)
	その他	83 (0.4%)	2 (0.1%)	0 (0.0%)	1 (0.3%)
その他	360 (1.6%)	206 (12.1%)	13 (7.8%)	27 (8.7%)	
合計	22,874 (100.0%)	1,697 (100.0%)	166 (100.0%)	311 (100.0%)	

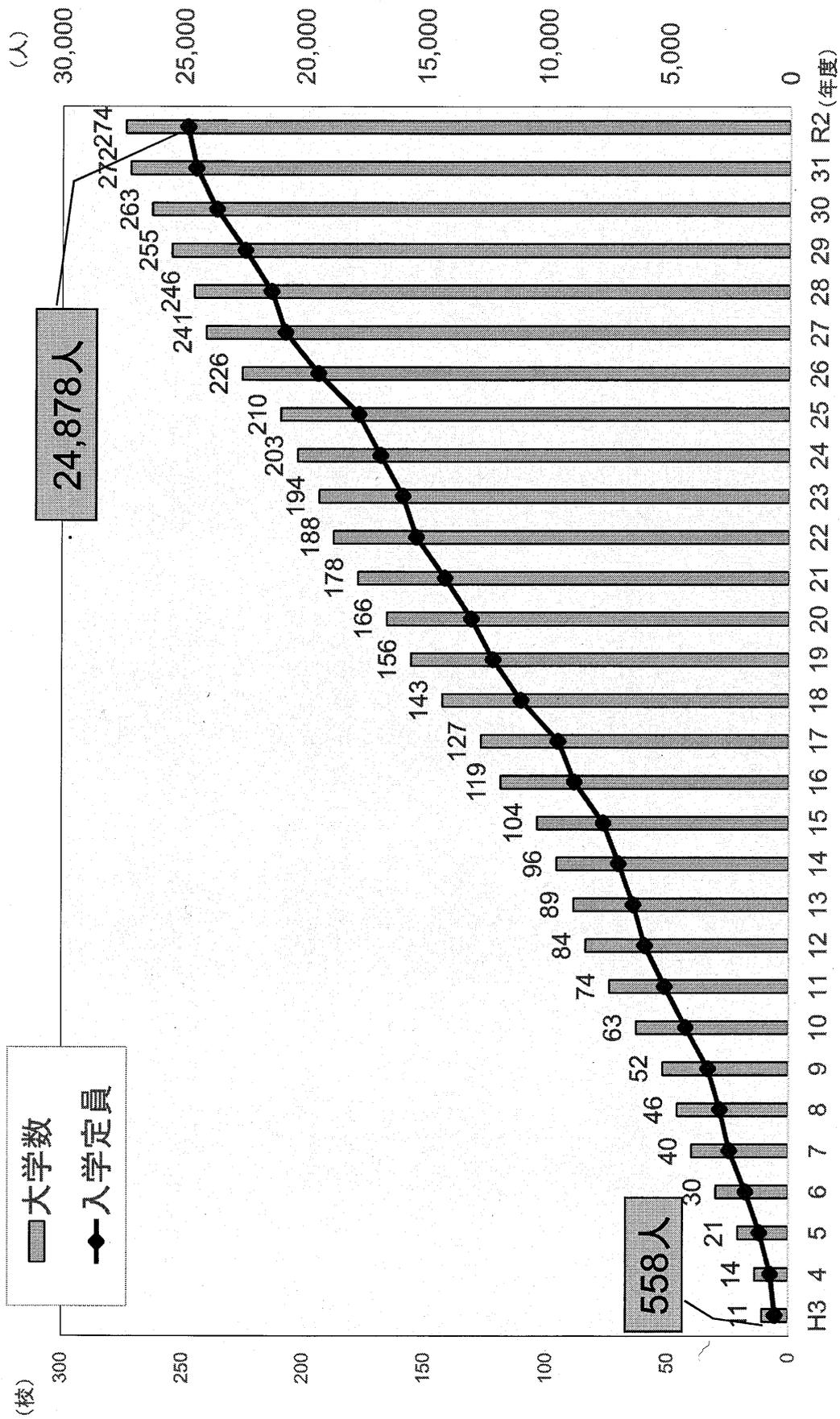
看護系学部・学科における学生22,874名の卒業後の進路は、就職が93.6%、進学が4.9%、その他が1.6%であった。就職先は、病院・診療所が19,810名(86.6%)と大半を占め、次いで保健所・市町村・検診センターが1,116名(4.9%)であった。進学先では、助産師課程が561名(2.5%)と最も多く、次いで看護系大学院が324名(1.4%)であった。

修士課程/博士前期課程の修了生1,697名の就職では、960名(56.6%)が病院・診療所に、148名(8.7%)が大学・短大・研究機関等に就職していた。専門看護師課程の修了生の進路は、病院・診療所への就職が134名(80.7%)、大学・短大・研究機関等が5名(3.0%)であった。

博士後期課程の修了生311名の就職では、大学・短大・研究機関等が173名(55.6%)であり、次いで、病院・診療所が46名(14.8%)、学校が39名(12.5%)であった。

# 看護系大学数及び入学定員の推移 (令和2年度)

2020年度の教育課程数は、274大学、289課程(1大学で複数の教育課程を有する大学がある)



(文部科学省高等教育局医学教育課調べ)

## 看護系大学（国公立）教員数に関する調査結果

一般社団法人日本看護系大学協議会

データベース委員会

一般社団法人日本私立看護系大学協会

大学運営・経営委員会

## I. 調査方法

1. 対象：日本看護系大学協議会と日本私立看護系大学協会の会員校 292校
2. データ収集方法：グーグルフォームを用いた Web 調査
3. 調査期間：2021年9月30日～10月15日  
 回答数：204校（国立・省庁大学校 n=25、公立 n=45、私立 n=134）  
 回収率：69.9%（国立・省庁大学校 56.8%、公立 90.0%、私立 67.7%）

## II. 調査結果

## 1. 大学の設置主体

表1 大学の設置主体 n=204

設置主体	大学数 (%)
国立大学（省庁大学校含む）	25 (12.3%)
公立大学	45 (22.1%)
私立大学	134 (65.7%)

## 2. 大学の所属の主体

表2 大学の所属の主体 n=196

所属の主体	大学数 (%)
大学院に所属し、学部は兼任である	19 (9.7%)
学部所属し、大学院は兼任である	137 (69.9%)
学部のみ	35 (17.9%)
その他	5 (2.6%)
無回答	1 (2.3%)

## 3. 過去6年間の教員定数減少の有無

表3 過去6年間の教員定数減少の有無

全数 (n=203)		設置主体別					
		国立 (n=25)		公立 (n=45)		私立 (n=133)	
有	無	有	無	有	無	有	無
49	154	18	7	6	39	25	108
24.1%	75.9%	72.0%	28.0%	13.3%	86.7%	18.8%	81.2%

4. 3で「有」と回答した大学が、その理由として把握していること

表4 過去6年間の教員定数減少「有」の大学の減少理由（複数回答）

教員定数減少の理由	回答総数 59(件)	設置主体別		
		国立 (n=25)	公立 (n=45)	私立 (n=133)
大学の方針により減少となった	31 (52.5%)	16 (64.0%)	3 (6.7%)	12 (9.0%)
経営上の課題から定員が減らされた	11 (18.6%)	5 (20.0%)	0 (0.0%)	6 (4.5%)
学部再編成等で定員が調整された	6 (10.2%)	2 (8.0%)	0 (0.0%)	4 (3.0%)
その他*	11 (18.6%)	0 (0.0%)	3 (6.7%)	8 (6.0%)

「その他\*」に記述されていた意見

【公立大学】

- ・大学院設置のために増員していたが、完成年度や自己都合等により退職があり退職者数と同じ採用がないため
- ・特任枠として借りていたのを返却したため
- ・法人化に伴って定数という考え方がなくなり、法人独自で決めるようになった

【私立大学】

- ・他大学への移動など
- ・教員審査に伴う人材が集まらなかった
- ・1名退職により、減となった。
- ・退職による定員不足
- ・教員異動後の人員確保について困難がある
- ・退職者の補充が間にあわなかった
- ・公募をかけるが、大学院人事との関係で教員人事が上手く進まず欠員を非常勤で補っている。
- ・定員という概念がなく、大学院設置で教員数が増えたが、看護系教員は減少した。

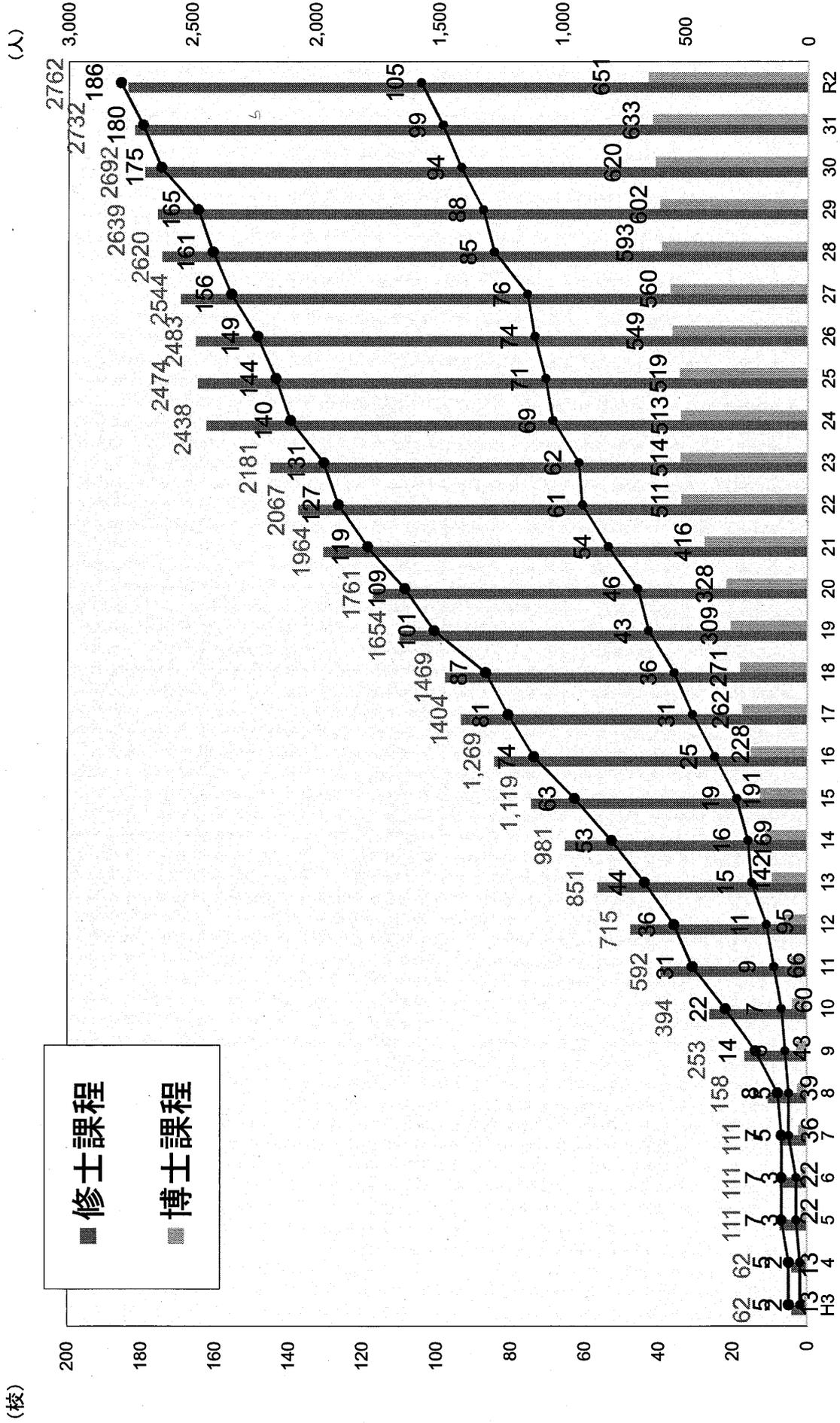
5. 過去6年間に、当該年度の4月1日時点で教員定数を充足できなかったことの有無

表5 当該年度の4月1日時点で教員定数の未充足の有無（過去6年間）

全数 (n=203)		設置主体別					
		国立 (n=25)		公立 (n=45)		私立 (n=133)	
有	無	有	無	有	無	有	無
164	39	21	4	40	5	103	30
80.8%	19.2%	84.0%	16.0%	88.9%	11.1%	77.4%	22.6%

出典：看護系大学（国公立）教員数に関する調査結果  
日本看護系大学協議会・日本私立看護系大学協会

# 看護系大学院数及び入学定員の推移（令和2年度）



(文部科学省高等教育局医学教育課調べ)

(注) 平成16年度以後の修士課程には、専門職大学院1大学院(入学定員40名)を含む。

# 資料5

## 表1-7.最上位取得学位名称別の教員数

国立大学 (回答課程数=43)					
学位名称	学士	修士	博士	学位なし	合計
看護学	33(91.7%)	329(72.1%)	238(36.3%)	/	600(51.9%)
保健学	1(2.8%)	80(17.5%)	231(35.2%)		312(27.0%)
医学	0(0.0%)	7(1.5%)	122(18.6%)		129(11.1%)
教育学	0(0.0%)	6(1.3%)	5(0.8%)		11(1.0%)
学術	0(0.0%)	5(1.1%)	11(1.7%)		16(1.4%)
その他	2(5.6%)	29(6.4%)	49(7.5%)		80(6.9%)
合計	36(100.0%)	456(100.0%)	656(100.0%)		9(100.0%)
学位割合	3.1%	39.4%	56.7%	0.8%	100.0%

公立大学 (回答課程数=50)					
学位名称	学士	修士	博士	学位なし	合計
看護学	92(92.0%)	730(75.2%)	420(54.7%)	/	1,242(66.8%)
保健学	2(2.0%)	84(8.7%)	135(17.6%)		221(11.9%)
医学	0(0.0%)	4(0.4%)	97(12.6%)		101(5.4%)
教育学	1(1.0%)	25(2.6%)	16(2.1%)		42(2.3%)
学術	0(0.0%)	8(0.8%)	17(2.2%)		25(1.3%)
その他	5(5.0%)	120(12.4%)	83(10.8%)		208(11.2%)
合計	100(100.0%)	971(100.0%)	768(100.0%)		21(100.0%)
学位割合	5.4%	52.2%	41.3%	1.1%	100.0%

私立大学 (回答課程数=189)					
学位名称	学士	修士	博士	学位なし	合計
看護学	261(74.1%)	2,244(63.1%)	996(48.9%)	/	3,501(57.6%)
保健学	3(0.9%)	288(8.1%)	305(15.0%)		596(9.8%)
医学	0(0.0%)	20(0.6%)	283(13.9%)		303(5.0%)
教育学	7(2.0%)	150(4.2%)	33(1.6%)		190(3.1%)
学術	2(0.6%)	123(3.5%)	93(4.6%)		218(3.6%)
その他	79(22.4%)	734(20.6%)	327(16.1%)		1,140(18.8%)
合計	352(100.0%)	3,559(100.0%)	2,037(100.0%)		132(100.0%)
学位割合	5.8%	58.5%	33.5%	2.2%	100.0%

全 体 (回答課程数=282)					
学位名称	学士	修士	博士	学位なし	合計
看護学	386(79.1%)	3,303(66.2%)	1,654(47.8%)	/	5,343(58.7%)
保健学	6(1.2%)	452(9.1%)	671(19.4%)		1,129(12.4%)
医学	0(0.0%)	31(0.6%)	502(14.5%)		533(5.9%)
教育学	8(1.6%)	181(3.6%)	54(1.6%)		243(2.7%)
学 術	2(0.4%)	136(2.7%)	121(3.5%)		259(2.8%)
その他	86(17.6%)	883(17.7%)	459(13.3%)		1,428(15.7%)
合 計	488(100.0%)	4,986(100.0%)	3,461(100.0%)		162(100.0%)
学位割合	5.4%	54.8%	38.0%	1.8%	100.0%

教員の最終修得学位は、博士が2019年度3,191名(35.4%)→2020年度3,314名(35.9%)→2021年度3,461名(38.0%)、修士が5,038名(55.9%)→5,156名(55.9%)→4,986名(54.8%)と、博士取得者の割合が微増傾向にあった。2021年度を設置主体別で見ると、国立大学では博士が56.7%、修士が39.4%、公立大学では博士が41.3%、修士が52.2%、私立大学では博士が33.5%、修士が58.5%であり、博士を持つ教員は国立大学、公立大学の順が多かった。

2021年度において学位の名称別で見ると、看護学が最も多く、それぞれに占める割合は、学士(79.1%)、修士(66.2%)であり、博士は2019年度44.3%から2020年度46.7%に微増したものの、2021年度は47.8%であり、あまり変化は見られなかった。博士の学位では、看護学に次いで保健学(2019年度19.5%→2020年度19.3%→2021年度19.4%)、医学(16.7%→15.2%→14.5%)の順であり、減少傾向であった。また、2021年度において、いずれの学位も持たない教員は、国立大学で0.8%、公立大学で1.1%、私立大学で2.2%ですべての設置主体で減少傾向にあったが、私立大学で多い傾向に変わりは無かった。

## 富山県立大学大学院看護学研究科（博士後期課程）の設置に関するアンケート概要

### （修士修了者及び修士在学中の者に対する博士後期課程への進学希望調査等）

#### （1）目的

修士修了者等に対して、本学が設置を検討している大学院看護学研究科博士後期課程への進学意向等について尋ね、学生の確保の見通しを測ること等を目的として実施

#### （2）調査対象

看護師の資格を有する修士課程修了者及び修士在学中の学生 109 人（大学等教員、300 床以上の病院に勤務する職員、富山県立大学看護学研究科修士課程在学中の学生等に配布）

#### （3）調査実施期間

令和 5 年 11 月 8 日（火）～11 月 24 日（金）

#### （4）調査方法

FORMS を利用した電子様式による配布・回収

#### （5）回答状況

有効回答者数 78 人（回答率 72% 78/109 人（大学教員 19 名、病院職員 42 名（富山県立大学修士在学者を除く）、修士課程在学者 12 名、その他 5 名）

## 富山県立大学大学院看護学研究科（博士後期課程） の設置に関するアンケート調査票

富山県立大学では、令和5年に大学院看護学研究科看護学専攻（修士課程）を設置しましたが、地域や社会の発展に寄与できる看護学教育・研究者および看護実践の指導者を育成するため、「大学院看護学研究科（博士後期課程）」の令和7年4月の設置に向けて準備を進めております。

つきましては、修士課程を修了または修士課程在学中の方を対象に進学意向を把握するための調査を実施し、大学院看護学研究科（博士後期課程）設置の基礎資料として、今後の参考にさせていただきたいと思っております。

ご回答いただいた調査票は、統計資料としてのみ使い、個人を特定することや他の目的に使用することは一切ございません。何卒ご協力をよろしくお願いいたします。

### ○回答方法

回答は、みなさんがお持ちのスマートフォン、iphone等によるインターネット上での回答とします。

下記のQRコードを読み取り、アンケートサイトにアクセスし、回答してください。（回答は令和5年11月24日（金）までをお願いします）

アンケートはこちらから



### 大 学 院 設 置 計 画

1. 名 称 富山県立大学大学院看護学研究科（博士後期課程）
2. 開 設 時 期 令和7（2025）年4月
3. 修 業 年 限 3年
4. 専 攻 看護学専攻
5. 定 員 2名
6. 授与する学位 博士（看護学）
7. 修了要件等 3年以上在籍し、所定の単位（16単位以上）を修得し、論文審査に合格すること。（長期履修制度5年予定）
8. 出 願 資 格 看護師の資格を有し、修士の学位を有する者（見込みのある者等も含む）等
9. 開 講 形 態 昼夜及び土曜開講（大学院設置基準第14条適用）

10. 設置場所 富山キャンパス

富山県富山市西長江2丁目2番78号

11. アクセス 地鉄電車「栄町駅」下車後、徒歩7分

12. 学 費 入学検定料：30,000円

入 学 金：富山県の住民 188,000円

その他の者 282,000円

授 業 料：前・後期 各267,900円

※長期履修制度の利用で最大5年間まで3年分の学費で在籍可能

13. 設置の理念

看護職者としての倫理観と広い視野を持ち、高度な専門知識と研究能力を備え、看護の課題を科学的に探究し、地域や社会の発展に寄与できる看護学教育・研究者および看護実践の指導者を育成する。

14. 養成する人材像

- 1) 看護職者としての倫理観と多面的・多角的視点、高度な専門知識と研究能力を有し、地域や社会における多様なニーズに対応するため、科学的に課題解決する能力がある人材を育成する。
- 2) 看護現象に焦点をあて、地域や社会の保健医療福祉の課題解決に向けて必要な看護ケアを科学的思考に基づき考究し、研究成果に基づき看護実践を牽引する人材を育成する。
- 3) 科学的課題解決能力・自立的な研究能力を有し、地域や社会の発展に寄与できる看護学教育・研究者および看護実践の指導者を育成する。

15. アドミッションポリシー

- 1) 高度な看護実践能力と看護研究に関する基礎的能力を有する人
- 2) 看護学の教育・研究に深い関心を持ち、本質を探究する論理的思考力を有する人
- 3) 地域や社会の保健医療福祉における多様な課題解決に向けて主体的に取り組む意欲のある人

16. 開 講 科 目

別添「看護学研究科博士後期課程の授業科目等の概要」

17. 競合する大学院博士課程の名称

富山大学大学院総合医薬学専攻博士後期課程看護科学プログラム

## 調査票

### 1. 所属等

#### 【設問】

現在の所属を教えてください（既卒または在学中別）。次より一つ選択してください。

#### 【選択肢】

<既卒>

- ①修士を修了し、富山県立大学教員
- ②修士を修了し、富山県立大学以外の教員
- ③修士を修了し、病院職員（看護師等）
- ④修士を修了し、その他の方（①～③以外）

<在学中>

- ⑤富山県立大学修士課程在学中
- ⑥富山県立大学以外の教育機関の修士課程在学中の教員
- ⑦富山県立大学以外の教育機関の修士課程在学中の病院職員（看護師等）
- ⑧その他（ ）

### 2. 興味のある学問分野

#### 【設問】

今後、学びたいと考えている興味のある学問分野を次より選択してください。（複数選択可）

（※学校基本調査学科系統分類表中分類を基本に選択肢を設定しています）

#### 【選択肢】

- ①看護学系（保健学含む）
- ②医学
- ③教育学
- ④社会学（社会福祉、福祉マネジメント等含む）
- ⑤その他（①～④以外）（ ）

### 3. 修士課程修了後の進路

#### 【設問】

修士課程修了後（既に修了し大学等や病院に勤務中の方を含む）の進路（大学院研究科博士後期課程）をどのように考えていますか。次より一つ選択してください。

#### 【選択肢】

- ①大学院研究科博士後期課程に出来るだけ速やかに進学を希望する。
- ②大学院研究科博士後期課程に状況や条件、環境が整えば進学を希望する。  
→具体的にどのように状況、条件、環境が整えば進学を希望しますか。記載してください。

- ③大学院研究科博士後期課程に将来、必要を感じた場合は進学を考える。
- ④大学院研究科博士後期課程に進学する考えはない。
- ⑤その他（ ）

以下は、設問3で①～③を選択した方に質問です。

4. 進学を希望する場合の大学院研究科博士課程の設置者

【設問】

志望する大学等の設置者の希望を選択してください。(複数選択可)

【選択肢】

- ①国立
- ②公立
- ③私立

5. 富山県立大学看護学研究科博士後期課程(令和7年4月開設予定)の受験希望の有無

【設問】

富山県立大学看護学研究科博士後期課程が開設された場合、受験を希望しますか。次より一つ選択してください。

【選択肢】

- ①第一志望として受験する
- ②第二志望として受験する
- ③第三志望以降として受験する
- ④受験しない

6. 富山県立大学看護学研究科博士後期課程(令和7年4月開設予定)に合格した場合の入学希望の有無

【設問】

上記5. で①～③を選択した方に質問です。

富山県立大学看護学研究科博士後期課程を受験して合格した場合、入学を希望しますか。次より一つ選択してください。

【選択肢】

- ① 入学する
- ② 志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する
- ③ 入学しない

7. 富山県立大学看護学研究科博士後期課程に進学する際の重視する点

【設問】

上記6. で①～②を選択した方に質問です。

富山県立大学看護学研究科博士後期課程に重視する点を教えてください。(あてはまるもの3つまで選択してください)

- ①指導を受けたい教授・教員がいる
- ②学びたい教育プログラムがある
- ③研究に重点が置かれている
- ④施設や設備が整っている
- ⑤通学の利便性がある
- ⑥奨学金が受けられる
- ⑦授業料の減免制度がある
- ⑧夜間・土曜日に開講している
- ⑨長期履修制度がある
- ⑩働きながら学べる

資料 6 - 3

調査対象としたアンケート配布者の所属一覧

(富山県立大学大学院看護学研究科(博士後期課程))の設置に関するアンケート調査票)

		所属
1	病院 の職員	富山県立中央病院
2		国立大学法人富山大学附属病院
3		富山市立富山市民病院
4		富山県厚生農業協同組合連合会高岡病院
5		市立砺波総合病院
6		高岡市民病院
7		富山赤十字病院
8		独立行政法人国立病院機構北陸病院
9		富山県済生会高岡病院
10		富山県済生会富山病院
11		南砺市民病院
12	教員	富山県立大学(教員)
13		富山福祉短期大学
14		富山市立看護専門学校
15	修士課程在学者	富山県立大学(修士課程在学者)
16	その他	富山県(保健師)
17		富山市(保健師)

【選定の根拠】

富山県内で看護師の資格を持った修士課程修了者(在籍者)が在職していると推定したアンケートの協力が可能な所属先

○病院は、公的病院のうち現在修士課程修了者が在職している病床数が300床以上の病院及び現在富山県立大学看護学研究科(修士課程)に在籍者が在職している病院を対象とした

○教員は、看護師の資格をもち修士修了者がいると推定される看護系の学部を持つ大学、短期大学、専門学校

○修士課程在学者は、富山県立大学の修士課程在学者を対象とした

○その他は、公的機関の保健師等のうち修士課程修了者がいると推定される所属

## 資料6-4

### 富山県立大学大学院看護学研究科（博士後期課程）の設置に関するアンケート調査結果 （修士修了者及び修士在学中の者に対する博士後期課程への進学希望調査等）

調査期間：令和5年11月

配布数 109

回収数 80 （うち有効回答78 ※入学前1名，他大学博士課程在学中1名）

回収率 73.4% 有効回答率 97.5%

#### 1. 対象の属性（所属）

(n=78)

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	富山県立大学教員	12	15.4	15.4	15.4
	富山県立大学以外の教員	7	9.0	9.0	24.4
	病院職員	42	53.8	53.8	78.2
	既卒その他	5	6.4	6.4	84.6
	富山県立大学修士課程在学中	7	9.0	9.0	93.6
	富山県立大学修士課程以外に在学中の教員	0	0	0	93.6
	富山県立大学修士課程以外に在学中の病院職員	5	6.4	6.4	100.0
	在学中その他	0	0	0	100.0
	合計	78	100.0	100.0	

#### 2. 興味ある学問分野（複数回答）

(n=78)

	度数	パーセント
①看護学系（保健学含む）	63	80.8
②医学	9	11.5
③教育学	25	32.1
④社会学（社会福祉，福祉マネジメント含む）	23	29.5
⑤その他	3	3.8

※その他の回答

心理学3人

#### 3. 修士課程修了後の進路

(n=78)

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	できるだけ速やかに進学を希望	2	2.6	2.6	2.6
	状況や条件、環境が整えば進学を希望	15	19.2	19.2	21.8
	必要を感じた場合は進学を考える	36	46.2	46.2	67.9
	進学する考えはない	25	32.1	32.1	100.0
	その他	0	0	0	100.0

合計	78	100.0	100.0
----	----	-------	-------

※条件が整えばと回答した人（複数回答）

【学びたい環境ができること】2人

- ・管理に関連した専攻がある
- ・学びたい分野の指導者の有無

【受験可能な学力があること】1人

・受験して受かるレベルなのか。学力や受験前の希望講座への面談で受験後に受け入れ可能と返事を貰えること

【職場の環境が整うこと】4人

- ・職場の理解が得られれば進学したい
- ・職場での役割
- ・職場の理解や環境が整えば
- ・職場の理解(勤務の調整など)

【家庭の環境が整うこと】4人

- ・子育てが落ち着いて家庭内に余裕ができたとき。具体的には子供全員が保育園から小学校へ上がること
- ・家族の転勤といった場所の都合や子供の学校等の支援を行いながら、学ぶ時間が確保できること
- ・周りの理解と支援が整えばできる限り早く進学したい。
- ・家族の状況

【学業と仕事や家庭の両立ができること】5人

- ・私生活や仕事の状況を考えて
- ・仕事との両立
- ・家事育児仕事を抱えながらの進学となるため、家庭内で家事育児の分担ができ、時間の確保ができれば進学を考えたい。
- ・仕事と学生および親としての責務を果たすことの両立が可能
- ・家庭や仕事との両立ができること。

【経済的環境が整うこと】6人

- ・入学のためのお金が貯まること
- ・子供達の自立(教育費などの目処)
- ・学費
- ・公立であることやアルバイトや研究員などが行えるなど進学費用が家計を圧迫しないこと
- ・学費の工面（扶養家族が多数いる）が可能用の目処

#### 4. 進学を希望する場合の大学院研究科博士課程の設置者（複数回答）

(n=53)

	度数	パーセント
国立	50	94.3
公立	44	83.0
私立	5	9.4

#### 5. 本学看護学研究科博士後期課程の受験希望の有無

(n=53)

		度数	有効パーセント	累積パーセント
有効	第一志望	15	28.3	28.3
	第二志望	8	15.1	43.4
	第三志望以降	2	3.8	47.2
	受験しない	28	52.8	100.0
	合計	53	100.0	

6. 本学看護学研究科博士後期課程に合格した場合の入学希望の有無

(n=25)

		度数	有効パーセント	累積パーセント
有効	入学する	18	72.0	72.0
	他学不合格の場合入学する	7	28.0	100.0
	入学しない	0	0	100.0
	合計	25	100.0	

7. 本学看護学研究科博士後期課程に進学する場合に重視する点（複数回答）

(n=25)

	度数	パーセント
①指導を受けたい教授・教員がいる	10	40.0
②学びたい教育プログラムがある	9	36.0
③研究に重点が置かれている	3	12.0
④施設や設備が整っている	3	12.0
⑤通学の利便性がある	13	52.0
⑥奨学金が受けられる	1	4.0
⑦授業料の減免制度がある	5	20.0
⑧夜間・土曜日に開講している	12	48.0
⑨長期履修制度がある	6	24.0
⑩働きながら学べる	12	48.0

## 資料 7-1

### 看護学研究科博士後期課程設置に関する調査【県内医療機関看護管理者】概要

(1) 目的

公的病院の看護部長等の医療現場の看護管理者を対象に博士課程に関する意見を調査したもの

(2) 調査対象

公的病院のうち病床数が 300 床以上の病院及び現在富山県立大学大学院看護学研究科博士課程在籍者がいる病院の看護部長等の看護管理者 14 人を対象

(3) 調査実施期間

令和 5 年 11 月 8 日（火）～11 月 24 日（金）

(4) 調査方法

FORMS を利用した電子様式による配布・回収

(5) 回答状況

有効回答者 13 人（回答率 93% 13/14 人）

## 資料 7 - 2

### 看護学研究科博士後期課程設置に関する調査

【県内医療機関看護管理者調査票】

現在、富山県立大学大学院看護学研究科では、下記(※)を目的に、令和7年4月を目途に博士後期課程(ケア創成看護学)の設置をめざし準備を進めているところです。

#### ※【富山県立大学大学院看護学研究科博士後期課程の目的】

看護学の専門領域に関する教育・研究を自立して行い、多元的・多角的視点から、地域や社会の保健医療福祉のニーズに対応し、看護学を発展・牽引する高度な研究能力及び豊かな学識を備えた人材を養成すること

つきましては、修士課程を修了した方が看護師として在職している病院及び現在富山県立大学大学院研究科(修士課程)に学生が在籍している病院の看護部長の皆様を対象に「設置に関する調査」を実施し、今後の参考にさせていただきたいと思っております。

ご回答いただいた調査票は、統計資料としてのみ用い、個人を特定することや他の目的に使用することは一切ございません。何卒ご協力をよろしくお願いいたします。

#### ○回答方法

回答は、みなさんがお持ちのスマートフォン、iphone 等によるインターネット上での回答とします。

下記のQRコードを読み取り、アンケートサイトにアクセスし、回答してください。(回答は令和5年11月24日(金)までをお願いします)

アンケートはこちらから



問 1 あなたの職位は次のどれに該当されますか。(あてはまるもの1つを選択してください)

1. 副院長兼看護部(局)長
2. 看護部(局)長
3. その他( )

問 2 社会的に高度な実践能力を有する看護師のニーズが高まっていますが、博士(看護学)の取得者に身につけてほしいと考える能力について、該当する番号を次より選択してください。(複数選択可)

1. 多元的・多角的視点で看護業務の課題を把握し、課題に対応する看護実践を新たに作り出す能力
2. 看護業務の課題解決のために必要な業務を実践の場に定着させる能力
3. 看護業務や看護実践のために、所属施設での研究活動を遂行できる能力
4. 看護職の人材育成について、企画立案・実践・評価できる能力
5. 看護系大学等の教育機関において、看護職の育成を行うことができる能力
6. その他( )

問 3 問 2 の能力を身につけた博士（看護学）の取得者について貴施設ではどの程度必要であると思われますか。（あてはまるもの 1 つを選択してください）

1. とても必要だと思う
2. 必要だと思う
3. どちらともいえない
4. 必要でないと思う
5. わからない

問 4 貴施設の看護職から博士課程進学を相談された場合、組織として支援の可能性はあるでしょうか。（あてはまるもの 1 つを選択してください）

1. ある
2. ない
3. わからない
4. その他（ ）

1-1) 「ある」と回答した方、下記のうち可能と考える支援を選択してください（複数選択可）

- A 休職（無給）
- B 休職 or 研修扱い（給料支給）
- C 雇用形態の変更（非常勤）
- D 勤務の調整（日勤専従、夜勤専従、短縮勤務など）
- E 学費支援または貸与
- F 業務調整
- G その他（ ）

1-2) 「ない」と回答した方、難しい理由を下記から選択してください（複数選択可）

- A 看護職の前例がない
- B 全職員で前例がない
- C スタッフ不足
- D 設置主体・法人などから認められない
- E その他（ ）

1-3) 「わからない」と回答した方、その理由を下記から選択してください（複数選択可）

- A イメージが付かない
- B 可能性のある看護職がない
- C その他（ ）

本学大学院看護学専攻博士後期課程（令和 7 年 4 月開設予定）について、ご意見など、ご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました

## 資料 7 - 3

### 看護学研究科博士後期課程設置に関する調査結果-県内医療機関看護管理者-

調査期間：令和5年11月

配布数 14

回収数 13

回収率 92.9% 有効回答率 100%

#### 1. 対象の属性（職位）

(n=13)

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	副院長兼看護部長	3	23.1	23.1	23.1
	看護部長	10	76.9	76.9	100.0
	合計	13	100.0	100.0	

#### 2. 博士（看護学）の取得者に身に付けて欲しい能力（複数回答）

(n=13)

	度数	パーセント
①多角的・多角的視点で看護業務の課題を把握し、課題に対応する看護実践を新たに作り出す能力	10	76.9
②看護業務の課題解決のために必要な業務を実践の場に定着させる能力	8	61.5
③看護業務や看護実践のために、所属施設での研究活動を遂行できる能力	12	92.3
④看護職の人材育成について、企画立案・実践・評価できる能力	9	69.2
⑤看護系大学等の教育機関において、看護職の育成を行うことができる能力	6	46.2
⑥その他	0	0

#### 3. 自施設における博士（看護学）取得者の必要性

(n=13)

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	とても必要だと思う	2	15.4	15.4	15.4
	必要だと思う	6	46.2	46.2	61.5
	どちらともいえない	5	38.5	38.5	100.0
	必要でないと思う	0	0	0	100.0
	わからない	0	0	0	100.0
	合計	13	100.0	100.0	

4. 自施設における博士課程進学者への支援の可能性

(n=13)

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	ある	10	76.9	76.9	76.9
	ない	1	7.7	7.7	84.6
	わからない	0	0	0	0
	その他	2	15.4	15.4	100.0
	合計	13	100.0	100.0	

※その他の回答

- ・認定、大学院（修士）までは支援させていただくが、他職種の事もあり支援対象が増えた場合、一人の方にばかり支援が重なる訳にはいかなくなる。難しい問題です。
- ・卒後、当院にどのように還元するか次第

4-1 自施設における博士課程進学者への支援の内容（支援ありと回答した人）（複数回答）

(n=10)

	度数	パーセント
①休職（無給）	6	60.0
②休職or研修扱い（給料支給）	1	10.0
③雇用形態の変更（非常勤）	1	10.0
④勤務の調整（日勤専従、夜勤専従、短縮勤務など）	6	60.0
⑤学費支援または貸与	1	10.0
⑥業務調整	5	50.0
⑦その他	0	0

4-2 自施設における博士課程進学者への支援なしの理由

1人無回答

4-3 自施設における博士課程進学者への支援の有無不明の理由（複数回答）

(n=2)

	度数	パーセント
①イメージが付かない	1	50.0
②可能性のある看護職がない	1	50.0
③その他	0	0

## 5. 自由記載

- ・県内で働く看護師が働きながら学ぶ環境が増えありがたい。
- ・今後、目指す人が多く出てくることを期待したいし、進めていきたい。
  
- ・県内に一つあれば良いと考える
- ・博士課程の進学よりも、まずは、修士課程進学を進めることのほうが、当院にとっては、課題である
- ・当院は大卒者がまず少ない現状である為、引き継ぎ大卒者の獲得に向けた取り組みと、大学院（修士）への支援を中心に行って行きたい。
- ・働きながら通学する事が可能であれば良いと思うが、その場合比重が問題になる。修士課程であっても時間的に厳しいので、そのあたりが、どうなのか気になります。
- ・仕事をしながらの学生を想定しているのであれば、募集要項を出す時点で授業時間と年間スケジュールをオープンにすべき。修士のとき、大学の事前説明では仕事しながらできるとのことであったが、実際は後から出されたスケジュールがとても通常勤務ができる状況ではなく、入院基本料に影響が出てしまう問題が起きている。そこまで考えた時間調整が、大学側にも病院側にも必要。また、大学が考える、臨床看護師が博士を持つ意義を示していただくと、イメージしやすく病院内での検討資料となる。

別紙1 富山県立大学看護学研究科（修士課程）の入学者の  
受験時の住所地

学籍番号	入学者の受験時の住所地
1	富山県
2	富山県
3	富山県
4	富山県
5	富山県
6	富山県
7	富山県
8	富山県
9	富山県
10	富山県
11	富山県
12	富山県
13	富山県

## 別紙2 富山県立大学大学院看護学研究科（修士課程）の学生募集のためのPR活動の過去の実績

### 1. 令和5年度実績

（令和5年度は、大学院看護学研究科修士課程の開設初年度であり、設置認可が8月のため学生募集のPR活動は設置認可前にポスター及び宣伝冊子の作成配付のみ実施した。）

#### ①学生募集周知用ポスターの作成

- ・掲載内容：募集人員、選抜区分、教育目標など
- ・規格：A2片面カラー
- ・配付先：国公立大学看護学部および近隣私立看護大学・・・87箇所、  
県内医療機関等・・・約150箇所
- ・配付時期：（7月）※②宣伝冊子と同時に配布

#### ②宣伝冊子の作成

- ・掲載内容：アドミッションポリシー、入試概要、本学の特徴など
- ・規格：A3両面カラー（見開き2ページ）
- ・配付先：①同様
- ・配付時期：（7月）※①ポスターと同時に配布

### 2. 令和6年度実績

#### ①学生募集周知用ポスターの作成

- ・掲載内容：募集人員、選抜区分、選抜スケジュールなど
- ・規格：A2片面カラー
- ・配付先：国公立大学看護学部および近隣私立看護大学・・・87箇所、  
県内医療機関等・・・約150箇所
- ・配付時期：（5月中旬）※②宣伝冊子と同時に配布

#### ②宣伝冊子の作成

- ・掲載内容：アドミッションポリシー、入試概要、本学の特徴など  
昨年作成したパンフレットのリバイスを行ったもの
- ・規格：A3両面カラー（見開き2ページ）
- ・配付先：①同様
- ・配付時期：（5月中旬）※①ポスターと同時に配布

#### ③大学院看護学研究科入学希望者向け説明会の実施（専攻科と同時開催）

- ・対象：本学大学院の入学を検討している者（学生、社会人問わず）
- ・会場：富山県立大学富山キャンパス講堂・大講義室等
- ・内容：卒業後の進路、研究内容について（入試委員より説明）  
入試概要について（事務部より説明）、質疑応答
- ・その他：HP、SNSを使って事前に周知を図る。  
ZOOMを活用した遠隔配信を実施。
- ・実施時期：6月2日
- ・実績：別紙「2023.06.02 富山県立大学大学院看護学研究科/看護学専攻科 入学希望者向け説明会参照」

#### ④県内医療機関等への働きかけ

- ・対 象：県内公的病院、看護系短期大学、看護系専門学校、
- ・内 容：看護学研究科（修士課程）で学ぶ意欲のある病院職員、教員の勧奨
- ・実施時期：7月～9月
- ・実 績：延 20 の県内公的病院、看護系短期大学、看護系専門学校に副学長、看護学研究科長等が直接訪問し依頼

#### ⑤相談フォームの設置（2023年11～）

- ・対 象：本学大学院の入学を検討している者（学生、社会人問わず）
- ・方 法：富山県立大学院看護学研究科ホームページより事前申し込み
- ・内 容：研究科入試委員が本学大学院への進学を検討している受験生の相談に ZOOM で対応するもの
- ・実 績：1月31日現在のところなし

2023.06.02 富山県立大学大学院看護学研究科/看護学専攻科 入学希望者向け説明会

(1) 参加者数・・・66人

本学学生	他大学学生	社会人	本学教職員等
46	8	6	6

(参考)

参加者大学等・・・県外大学5、県内大学等3

参加者勤務先・・・県内5、県外1

(2) 参加方法別人数

対面	ZOOM
21	45

(3) 説明会を何で知ったか(※ZOOM参加者のみ)

学内メール	ポスター(大学案内)	ホームページ	その他
29	5	10	1

(4) 本学以外に受験を検討している大学等(※ZOOM参加者のみ)

県外大学

(5) 質問およびコメント(※ZOOM参加者のみ、一部抜粋)

- ・カリキュラムと受験日程について知りたいです。
- ・出願手続き、事前審査に関わること
- ・受験出願資格について詳しく知りたいです。
- ・過去問の資料請求はできますか？大学内でのみの閲覧の場合、県外の学生で帰省が難しい人は、親にどんな内容か代わりに見に行ってもらうことは可能ですか？
- ・情報がなく不安があるため、過去問についてや、どんなことを面接で聞かれるのか、面接でどこを見ているのか少しでもいいので教えて頂きたいです。また、県外からの入学でも問題ないのか教えて頂きたいです。
- ・貴学では教育訓練給付制度は設けていますでしょうか。

(6) 今後の対応について

- ・当日参加できなかった人のため、本学の大学院、専攻科ホームページに説明会の動画を公開。公開動画(コンテンツ)は、

- ①大学院の紹介
  - ②公衆衛生看護学専攻の紹介
  - ③助産学専攻の紹介
  - ④入学者選抜説明
- の4つ。

・(5)に挙げられた質問も踏まえ、よく聞かれる質問についてはQ&Aとしてホームページに公開予定。